



てなむ

キャリア 教育



学びの1週間! 2024

令和の学びがここにある!

主体的で対話的な学び!

五感で学ぶ時間!

【こども議会】

本年度も関係機関等との連携により「学びの1週間! ~令和の学びがここにある~」を開催することができました。感謝! 感謝!



こだわりがあり、①真のキャリア教育をベースに!
②令和型の新たな学びを!
③学びの秘密基地「TENAMU交流スペース」で! を大切に企画しています。

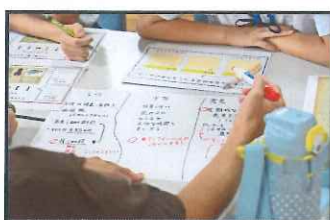
初日(8月3日)は、こども家庭庁が進める施策を、小林市内の子どもたちで考えようということで、小林市役所こども課と連携して「こども議会2024」を開催しました。

昨年度から小林市で是非やりたいと思っていた企画です。「全国こども国会」の地方版を、こども課との連携で実現できました。



テーマ「こどもまんなか社会をつくるためのルール」。集まった小・中学生を3人~4人のグループ8班に編

成してワークショップを進めました。こどもたちだけで考える『こどもまんなか社会』とは?



メインファシリテータを小嶋陽さん(東京都)にお願いし、各テーブルのメンター(大人)は、ありがたいことに全国各地からボランティアが集っての贅沢なこども議会となりました。



緊張感でスタートしたこども議会。各テーブルは、初めて顔を合わせる異年齢のグループです。メンターの力を借りながら自己紹介等のアイスブレイキングからスタート。流石こどもたち、時間の経過と共に会話もスムーズに協働作業に夢中になっていました。



後半は、各グループで考案した法律やルールをプレゼンするという難問にチャ

レンジです。基本は2人で力を合わせてのプレゼンですが、1人プレゼンのグループもありました。各グループともしっかり伝えることができていました。



【こどもたちの感想】

◇学年が違うチームで集まって意見を出し合った時に、たくさんの意見が出て私も発言しやすかった。私と意見が違ったりする人もいたけど、それを否定したりせずに話合いができたので楽しかったです。他にも、意見が同じだから「私も~」、意見が違っても「凄いな~」と声をかけて話合いができて意見を出しやすかったです。隣の人と協力して行うゲームもあったりでとても楽しい1日でした。

◇こども議会に参加してみて、最初は緊張しましたが次第に慣れてきて緊張が解れました。「大切」「平等」について班のみんなと話し合いました。難しい質問でも何とか意見がまとまりました。昼には弁当を食べながら色々な話もできて楽しかったです。午後からは、午前に話し合った内容を基に、こどもまんなか社会を創るためのルールを考えました。第1条、第2条、第

3条までを班のみんなで作成、発表の準備をしました。発表は、大勢の前ということもあり緊張しました。発表が終わると市役所の方から質問や意見をいただきました。「なるほど」と思ったところもありました。とてもよい機会となりました。今日のことを学校生活にも活かしていきたいです。

◇こども議会に参加してみて、自分の意見を述べる大切さが分かりました。自分の意見を述べることで相手に伝わり、相手の意見を教えてもらい新しい考え方が生まれたからです。午前中に、どちらが平等かを考える問題で、自分と同じ考えだったり違う考え方がたりりました。よく理由を聞いてみるようになるほどと思うことも多々ありました。午後は、小林市のこどもまんなか社会の法律を考えました。小林市のこどもたちが楽しく暮らせるための法律はどんなものがよいのか、班の全員で話し合い、よりよい法律ができたと思っています。最初は、自分の意見を積極的に述べるのができなかったけど、意見を述べる大切さを理解し、後半はいつもより自分の意見を伝えることができたと思います。これからは、このこども議会で学んだ事を活かして生活していきたいと思いました。このような機会にとっても感謝しています。



てなむ

キャリア 教育



学びの1週間! 2024

令和の学びがここにある!

キッズタウン TENAMU

「学びの1週間!」の2日目(8月4日)は、小林商工会議所と連携しての小林版キッズニア「キッズタウンTENAMU」を開催しました。



小林商工会議所加盟の事業所を中心に、11の事業所のご協力で実施できました。①イタリアンコックのお仕事、②アナウンサー・声優のお仕事、③ギフトラッピングのお仕事、④銀行の窓口でのお仕事、⑤外貨両替(外国のお金を日本のお金と交換する)のお仕事、⑥美容師のお仕事、⑦ケーキ屋さん(パティシエ)のお仕事、⑧お花屋さん(フラワーデザイナー)のお仕事、⑨薬剤師のお仕事、⑩デザインのお仕事、⑪プログラマーのお仕事の11業種でした。



小林市で初開催の「こどもが主役! お仕事体験イベ

ント」という事もあり、7月1日の申込みから満席になるプログラムがたくさんの人気ぶりでした。



実際に参加した子どもたち、どのプログラムも目を輝かせながら真剣に取り組む様子が印象的でした。地元企業の熱心な指導で、働く意義や楽しさ、将来に向かってワクワク取り組む意欲付けになったようです。



主体的で対話的な学び!

五感で学ぶ時間!



[リトミック]

「学びの1週間!」の3日目・4日目は、あまり馴染みのない「リトミック」教室を企画しました。



リトミックの専門家を奈良県、東京都、埼玉県から招へいし、①親子・幼児、②小学校低学年、③認定こども園への出前授業と、3部構成での実施にしました。



リトミックは、スイスで考案された『音楽教育法』です。音楽に合わせて身体を動かし、音楽を聴き、判断し、表現することを通して子どもの心身の発達を促すことを目的としています。



リトミックの主な効果として、①感性や運動能力の発達、②情緒の安定、③想像力・集中力・思考力の育成、④協調性や連帯感の向上等が挙げられます。

今回参加の子どもたちも楽しく学びながら夢中に身体を動かしている様子に感動しました。プロは凄い!





てなむ

キャリア 教育



学びの1週間! 2024

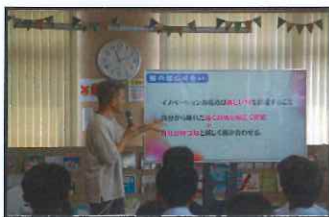
令和の学びがここにある!

主体的で対話的な学び!

五感で学ぶ時間!

こばやし未来創造塾 [起業家サミット]

「学びの1週間!」の5日目(8月7日)は、小林市ではなかなか聴く機会のない起業家サミットを企画。今話題に必要な資質アントレプレナーシップ教育の一環として開催しました。



5名の方に登壇いただき、それぞれピッチをしていただきました。高校1年生の古川さんは「普通の小学校をつくりたい」のテーマで、2027年開校予定の小学校づくりについて活動している内容を紹介!

ファシリテータの杉田さんには、今回の起業家サミットの趣旨と全体の進行をお任せしました。



(株) HATSUTORIの服部さんは、前職から学び直しをして今の起業に至った理由等を。ひなもり銘木の丸野さんは永年続く家業を承継し、新たな事にも挑戦しながら今を生活しているこ

とを。FORCESの仁平さんは、地方にいたが都会に出て今「IT関係」があることを話されました。



全ての人に共通するのは、常に前向きにチャレンジしているということ! 共通言語として「一歩踏み出す!」ということでした。

参加した中・高校生たちの心には響いていると思います。感じたことを行動に移す(感動)ことが重要です。期待いたします。

自然エネルギー教室

「学びの1週間!」の6日目(8月8日)は、東京のPoCTECH(株)による自然エネルギー教室「太陽から電気エネルギーをつくっていろんなものを動かしてみよう」を企画しました。



実際にTENAMU交流スペースにソーラーパネルを持ち込んで、目の前で電気を作ってバイクを動かしたり、アイロンを使ったワークショップで楽しみました。



ワークショップ(アイロン1台のため)の待ち時間が長くて、時間を持て余す子どもがいて若干のプログラムの修正・改善が必要だなとも感じましたが、ソーラーで電気を蓄える仕組みは理解できたと思います。

中学生起業家 リ・レウォン講演会

「学びの1週間!」最終日(8月9日)は、東京都から中学生起業家(リ・レウォンくん)を招いての講演会・ワークショップを企画しました。世界は広く、中学生でも起業できることを肌で感じて欲しいとの想いで開催しました。



レウォンくんは、小学校4年生から不登校です。自分の描く生き方をしたいとたくさんの大人たちと出会い、クラウドファンディングで商品開発をしたり、ピッチコンテストに応募したりと意欲的に活動しています。地球上の全ては元素ででき

ていることに興味を示し、元素カルタの開発や、楽しみながら漢字を習得できる漢字ミッションを開発・商品化しています。



とにかく好奇心旺盛で活動的です。気になることをとことん追求する姿勢がすばらしいし、プレゼン能力が凄いです。(あのホリエモン絶賛!)

高校生寺子屋

8月7日・8日・9日の3日間の午後(2時間)は、小林高校生運営の寺子屋を開設しました。

夏休みの宿題等に苦戦している小・中学生の学びのサポートとして、高校生たちが頑張っていました。

嬉しいことに3日間参加した生徒もいました。

